

昨今の少女事情

二階堂 元重

上田駅のロータリーで、女子高生が横一列になって募金活動をしてると思ったので知らんふりで通り過ぎようとして唾然。

立ったまま全員横一列でお弁当を食べているのだ。

先日交通事故で受診した少女。

下腿をタイヤに轢かれたとのことだったが理由を聞いて唾然。道路で寝ていたのだ。

理由を聞くと「別に。」って言いそうな感じだったので聞かなかった。

ウチの向いに高校があって、県内有数の進学校であるが、気候のよい夜ともなると校舎の周りのあちこちで3~4人のグループ(たいてい女子)が地べたにアグラをかいて会議してる。

こういった「豪傑」は普通男子だったのに。どこかで完全に逆転してしまった。

マユ毛を整える男子。Jリーガーや高校球児ではもはや定番であるが、隣国ではおしゃれな男子は外出時メイクするらしい。

そういえば30年前のギャルはみんな「ゲジゲジマユ毛」だった。

30年後「昔のオトコはみんなゲジゲジマユ毛だったんだね。」って言われてるに違いない。オトコが鏡に向かってマユ毛を抜いてる時、少女たちは地べたにアグラをかいて顎がはずれそうなほどでっかい口を開けて笑ってるのだ。ガサツでデリカシーのかけらも見当たらない。このコたちはきっと「握りっぺ

するんだろうなと思う。

「だいたいあの飯の食べ方はなんだ。」

背中をまるめ顎を突き出しお箸はクソ握り。口をご飯に持っていくあの品のない食べ方。さらに首を振りながらとなればもう完璧なギャル曾根だ。

あとついでに「なめ箸」。TVで最初に見かけたのは広末だ。キャワイイと思ってやってるのかもしれないが明らかにマナー違反だ。

普通親や教師が教えるべきと思うが、これが全く期待できない。だって彼らはコドモと「お友達感覚」で接してるんだもの。

媚びと迎合。「教育的指導」なんてありやしない。だから敬語も崩壊する。

「ハイ」が消えてみんな「ウン」だ。「ウン使い」しておきながら褒めてもないのに「ありがとうございます。」「楽しくお付き合いさせていただいてます。」「注文は以上でよろしかったでしょうか？」なんて過去形？これ以上たのむんじゃねーぞ、バカヤローって言われてる気がする。

そうかと思えば「やるんで。」「するんで。」しますので、ではないのか。

質問すると「ン？」って言われるのも勘弁してもらいたい。こういう無茶苦茶なしゃべり方するのはだいたい女子だ。

先日文化庁が「国語に関する世論調査」で最近の若者の「食べれる」「来れる」などの「ラ

抜きことば」ならびに「暑っ!」「デカッ!」などの短縮形を公表していたが、こんなの全然気にならない。とにかく敬語の再構築が急務と考える。

私だったらまず手始めにコドモの頃から「ウン」ではなく「ハイ」と言わせる癖をつけさせたい。ここから始めたい。

「可憐」「清楚」なんて言葉を聞かなくなっ
て幾久しい。

嗚呼!「まだあげ初めし前髪の」君は
いったい何処に行ってしまったのだろう。

小津映画で原節子が「まあ、いやですわ。」
とか「そうでしたの。」とか喋ってる。

Wow! 原節子! Wow!

全国の女子高の道徳の時間(ないかも)で
「東京物語」や「秋刀魚の味」鑑賞を義務付
けるというのはどうだろう。

